

つたえる地域 つながる地域

# 子ども食堂運営方法学ぶ



県都

子どもを取り巻く孤食や貧困などの課題解決を図り、無料か低料金で食事を提供する「子ども食堂」について、運営の仕方を広める説明会が13日、青森市で開かれた。八戸学院大の佐藤千恵子准教授ら事例を報告し、子ども食堂の開設を目指す約100人が、利用対象の設定や運営費捻出の方法などについて学んだ。

青森県社会福祉協議会と県共同募金会が主催。基調講演で佐藤准教授は、八戸市の「はっち」で毎月1回実施している子ども食堂の様子などを紹介。「子どもは宝。子どもの明るい笑顔と未来を応援したい。それが地域づくりにつながる」と強調した。



## 八学大・佐藤准教授ら事例報告

また、自身のデイサービス施設を活用し、他世代交流型の「まんなまカフェ」を運営する池田右文・池田介護研究所(同市)代表は、子どもや保護者、デイサービス利用者が気軽に相談できるよう、専門知識を持つ社会福祉士を置く工夫を報告した。

質疑応答では「フードバンクについて詳しく知りたい」「子ども食堂を始めたが、有料であることを理由に放課後児童クラブにチラシを置いてもらえなかった」などの質問や体験談が寄せられた。

(田沢奈々)

子ども食堂の運営について講演する佐藤千恵子准教授